

# センチュリー CENTURY

- 地域を育む人と企業
- 時代と人をつなぐスペシャリスト
- 地域で活躍する職人たち
- 人を、未来を育てる教育者たち
- 暮らしを支える生産者たち
- Food, Drink, Salon and ... SHOP
- 人々の心に寄り添う医療・福祉
- 心のふるさと 社寺めぐり

2022. 10  
VOL.306

## ■ 巻頭特集

### 選択的夫婦別姓制度は実現するのか？



## ■ cover story

新型 SUV の車種拡大や EV の導入を進める『マルチ・スズキ』  
牙城であるインド自動車市場での地位死守なるか

## 企業 人

### より多くの人々に幸せを届けていく 自爪を大切に育てるネイル育成ケアで



**創**業時より自爪を健康に育てることにこだわり続け、2022年で25周年を迎えるネイル育成ケアサロン『グランクール』。爪が弱い人、コンプレックスを持つ人、年配からお子様まで、幅広い層に本物の自爪ケアを提供している。独自の自爪育成ネイルケア®メソッド『爪健美道®』を後進に伝える活動にも注力中の花井社長のもとを、本日はタレントの新山千春さんが訪問。詳しくお話を伺った。

**有限会社  
ル・グランクール**

東京都渋谷区東 2-27-4  
エビス東ハイイツ 405

URL : <https://tsumekenbido.com/>

代表取締役  
爪健美道®家 **花井 可奈子**



まずは、花井社長の歩みから伺います。私は長い間、弱くて形の悪い爪にコンプレックスを持っていました。ある時、仕事のリサーチでネイルケアを経験。手元のケアの気持ち良さに感激したのですが、一方で甘皮を根こそぎ切り取る誤ったお手入れにより、ささくれだらけになってしまったんです。昔のネイルサロンは、爪が元から丈夫で綺麗な方が行くようなところで、私のような爪を持つ人が通えるようなサロンはなかったんです。それで、「爪にコンプレックスがある人も通えるサロンをつくりたい」という夢を抱くようになりました。

そして目標実現のために「ウィンバ」という米国のネイルスクールで学びたいとお金を貯めていたところ、なんと同校が折良く日本校を設立。そちらでマニキュアリングの基礎を学ぶという、幸運に恵まれました。さらに一期生の特典として、米国の「WINBAネイルカレッジ」でも学ばせていただき、知識や経験を積むとともに、独自のケア理論「爪健美道®」を確立できたのです。そうして研鑽を積んだ後の1996年に「ル・グランクール」を設立するに至りました。

夢を叶えて、弱い爪の方でも通えるようなネイルサロンを推進されたのです。

はい。ネイルケアには、薬品を使わずに塩素を中和したシリカ水を使用した炭酸ガスで皮膚を柔らかくしたり、ノンケミカル処方を使用しています。ジェルを提供すべきか悩んだ時期もありました。が、自爪を尊重し、自身が納得できる製品や技術を提供することにこだわりたいと思い、現在まで爪健美道®メソッドの自爪ケア一筋です。その甲斐あって多くの方々にご賛同いただき、25年



ネカ一分減にさ異向敵  
ジェラ自、供念もと素  
は、入客上る、提断て事、た  
は、入客上る、提断て事、た  
は、入客上る、提断て事、た  
は、入客上る、提断て事、た

通つてくださる方もいらして、今夏に通常施術数10万人を達成しました。

変わらぬ信念や培ってきた技術の確かさ、皆さんに伝わっているのですね。ありがとうございます。今は何でもネットで購入する時代ですが、爪健美道®の技術は私自身や、爪が伝承した技術者にしか提供できないと考えています。それで私自身、100年後にも技術を紡いでいきたいと思っています。父が、技術を後進の人に伝承していきたいこと、と言ってくれたこともあって、そのための機関である「ネイル育成ケア協会」を2017年に立ち上げました。現在は全国から生徒さんが講習を受けに来てくれています。認定講師も10人おり、より多くの方々に爪健美道®の技術を伝えて、いつかは、と期待しています。

それはとても素敵なお話ですね！

今後は爪健美道®家として、技術を提供できる人たちをどんどん増やしていきたいですね。まだ現在販売している製品が好評なので、これからも妥協せず新たな製品の開発にも挑戦したいと思っています。私の母が50年以上美容室を営んでいたので、50年を目指して85歳まで現役を貫けたらと思います。爪健美道®のテーマである「爪を健康に、コロナを豊かに」を提唱し続け、一人でも多くの皆様を爪先からポジティブに、ハッピーをもたせたらと思っています。